



道の友

2022.1/69号
since 1975・10



The Friends News

日本ボーイスカウト富山県連盟
富山市舟橋北町7-1 ☎076-432-6505
E-mail: bstoyama@p1.coralnet.or.jp
http://www.bstoyama.org

明るい未来を切り拓き、社会を支える若者の育成を目指して

日本ボーイスカウト富山県連盟 連盟長 新田 八朗



明けましておめでとうございます。

令和4年の初春を皆様とともに寿ぎたいと存じます。

昨年、伝統ある日本ボーイスカウト富山県連盟の連盟長に就任いたしました。各団の指導者の皆様や、助成会をはじめ関係の皆様には、日頃より、地域に根差したスカウト活動の推進に多大なるご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。



カブスカウトの新田富山県知事
(富山第3団)

私は、小学生だった昭和44年に「ボーイスカウト富山第3団」に入隊し、以来約10年間、仲間とともに自然体験活動や奉仕活動をはじめとしたスカウト活動に取り組みました。様々な活動を通して、困難を乗り越える知恵や果敢に挑戦しようとする逞しい心、協調性やリーダーシップを身につけることができましたと思います。

また、社会人となってからは、助成会の立場で、現役スカウトの皆さんの活動をバックアップさせていただき、平成21年から一昨年までは会長を務めさせていただきました。

今後は、連盟長として、県下22団、872名のボーイスカウトの皆様とともに、当連盟がさらに大きく発展しますよう、誠心誠意努めてまいります。

さて、近年、少子高齢化や人口減少の進行に加え、自然災害等の困難に直面し、人と人との絆や、地域で支え合うことの大切さが改めて認識されています。

こうしたなか、自然の中で多くの仲間とふれあいながら、人と人とのつながりを学ぶスカウト活動の果たす役割は、今後一層大きくなるものと思います。

当連盟としましては、引き続き、自然体験活動や地域奉仕活動の推進、自発的に行動できる指導者の育成など、「真の人間力」を育む教育活動に取り組んでまいります。

そして、明るい未来を切り拓き、社会を支える若者の育成を目指し、関係の皆様と「ワンチーム」となって取り組んでまいります。ともに頑張りましょう。

結びに、日本ボーイスカウト富山県連盟の限りない発展と、皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。



連盟長推戴式
(花束贈呈)



連盟長推戴式
(ちかいの式)

※ ビーバースカウト活動紹介

年末恒例「うどん」

富山第16回

いつのころからかわかりませんが、わが団では毎年年末に必ず「年越しそば」ならぬ「年越しうどん」を食べています。昨年こそコロナの影響で初の休止でしたが、毎年準備担当はベンチャー隊。粉も厳選し、分量を量り、前日から額を寄せ合い、昆布やかつおだしのいい香りと大量の湯気がお寺の台所から湧き上がってきます。「かまぼこって一人何枚？」「ねぎってビーバー食べられる？」

本番当日ビーバースカウトたちは興味津々！「どうして足で踏むんですか？」の質問にタジタジのベンチャー「えーとね、えーとね、おいしくなるためだね！」ま、そうですけどね（苦笑）

体重の軽いビーバーたち、生地を一生懸命ふみます。みんなやってみたくらいから一人10回までルールが適用され、掛け声がこだまします。「い〜ち、に〜、さ〜ん・・・」「はい！交代ね！」お次は麺棒登場！ギューッと押しながら、ゆっくりとね！難しいなあ〜 真剣な顔で丸く大きく伸ばしていきます。「きっとピザになるんだよ」「え〜！？違うよ！」

見たこともない大きな麺切り包丁に尻込みするビーバーたち。「さ、一緒に切ろうよ！」「わぁ重たい！」「ほら、す〜、とん！ね？」これまた大きなお鍋でゆでること数分「は〜い、できたよ〜」「わぁ！ほんとにうどんになったよ〜」「いただきます」



粉と水を混ぜて、こねて、踏んで、伸ばして、寝かして、切って、ゆでる！

インスタント食品や冷凍食品に囲まれた今のスカウトたちにとって、この「年越しうどん」は「食」の大切さを伝える役割もありそうです。



※ カブスカウト活動紹介

電車でGo!

南砺第3回

今日はみんな楽しみにしていた「乗り物ハイク」の日です！

忍者ハットリくん封筒に入ったニンム書によれば「氷見までの片道切符を手に入れるでござる！」

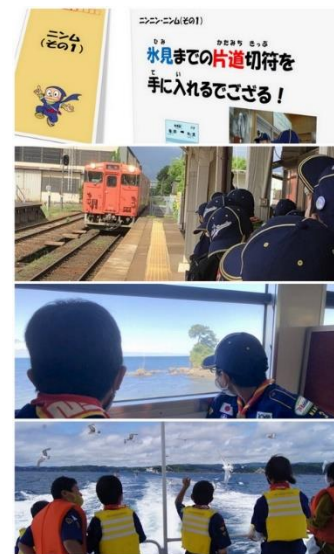
緊張の組長でしたが、駅員さんから無事、切符を入手！乗車中の車窓に広がる美しい日本海よりも、スカウトたちの視線を集めたのはすれ違ったカッコイイ観光列車「べるもんた」！

「あ〜あっちに乗りたかったなあ」

運よく貸し切りになった「コミュニティバス」で氷見漁港まであっという間に到着。ここから、本日3つ目の乗り物、遊覧船に乗りこみました。ライフジャケットをしっかりと着たら、手には“かっぱえびせん”をにぎりしめて、さぁ出発！するとすぐにたくさんの海鳥たちに囲まれます！テンション上がるう〜！「こっちにおいで〜」「こないよ〜」「もう、かっぱえびせん自分で食べちゃうもんね！」定置網も発見できてニンムも無事完了！

下船後、「母の愛情」たっぷり弁当でお昼にします。上空からはトンビが狙っていたため、スカウトたちは母の愛情を守るため必死でした。午後は「マンガロード」巡り。忍者ハットリくんと一緒に笑顔でパチリ！笑わせるすまん「喪黒福造」ベンチに座って「ドーン！」とポーズし、次々に問題を解いていきます。お寺の石像前で記念撮影。ん！一人多くないか？

帰路は切符を自動販売機で買って、氷見線から高岡駅で城端線に乗り換えて、無事福野駅に到着。お天気にも恵まれ、大満足のスカウトたちでした！



🌀 ボーイスカウト部門紹介

コロナ禍でのキャンプ

射水第3団

コロナ禍でのキャンプは様々な制約があります。

射水第3団では感染防止を第一に保護者のご理解を頂き、各自ソロテントとメスティンを購入して貰いました。

Myテントでの隊キャンプ。どうなるかと思いましたが、テントを並べて設営したところ、テント越しにいつものように話をしています。朝も声掛けをして起こしたり、準備品の確認をしたり。

炊事もおかずはまとめてかまどで鍋につくりましたが、ご飯はメスティンで一人ずつ炊飯します。自分で好きな量を決めて炊くのでご飯も余りません。



これまでの隊キャンプと同じには出来ませんが、コロナ禍でのキャンプ体験でもスカウトが成長していることを実感しました。

ベンチャー隊に上進した時にはソロテントとメスティンを活用して楽しくキャンプをしてくれれば良いと思います。



🌀 ベンチャースカウト部門紹介

6名の隼スカウト誕生

富山第10団・富山第19団



8月19日と9月30日に県連進級面接会が開催され、富山19団4名、10団2名が晴れて隼章スカウトとなりました。コロナ禍でスカウト活動が制約される中、お互いに刺激しあいながらそれぞれ目標をもちスカウトたちは活動に取り組んできました。ベンチャーで菊章取得から挑戦した富山19団V Sは綿密な計画を立て、意欲的かつ楽しそうに活動し、仏教章も修得しました。

さて、新課程の隼章の進級項目は「冒険と奉仕」をキーワードに構成されてい

ますが、「救急章」「パイオニアリング章」など9個以上の技能章、2泊3日の移動キャン

プ、プロジェクト、グループホームへの継続的な奉仕活動、「ちかいとおきて」「信仰」「SFB」についての考えをまとめる過程で、自己の成長を振り返ることができたと思います。VSは文字どおり、野外でのアドベンチャー(adventure = 冒険)を自ら企画・実行しながら、自己開発と市民性の涵養を育てるボーイスカウト教育の最終部門です。彼らには、良き社会人になるため、後進のスカウトのために、これからもスカウト活動を続けて欲しいと思います。



富山第10団 発団50周年式典
鈴木 彩 谷川 新之助



43Km徒歩での移動キャンプのスタート

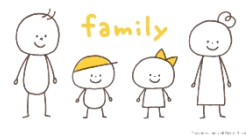
(左から) 北野 峻大 伊東 駿佑
浦 知奈都 飯田 旭



県連盟ホームページが約10年ぶりにリニューアル



視覚的に分かりやすいデザイン・メニュー構造を導入して、スマートフォンでの最適表示にも対応しました。メインターゲットは対象の子どもを持つ親を想定としています。関心から理解へ、さらに共感いただけるようなサイト作りを目指していきます。チャットやLINEでのお問い合わせにも対応しました。



県内の各団や各隊で発信しているブログ記事を収集し、束ねて紹介する機能をつけて、活動の様子が伝わる工夫をしました。

関係者向けサイトは分離し、指導者向けの文書や情報提供、募集に使える素材なども提供していきたいと考えています。ほかにも、スカウト用品の発注など、DX化を進めていきます。

ぜひご利用ください。



Toyama Council, Scout Association of Japan

日本ボーイスカウト富山県連盟

<http://www.bstoyama.org/>



INFORMATION

■ 次回のボーイスカウト講習会 ■

主任講師	岩川 剛 LT	参加費	3,000円 (教材・食事代)
日時	令和4年3月20日 (日) 9時30分～17時	会場	BS高岡地区事務所

■ 令和3年度表彰に輝く人々 ■

令和3年度ボーイスカウト関係の次の方々が表彰されました。

心からお祝いを申し上げ、今後ますますのご活躍と当運動へのご支援をいただきたいと思います。

◎ 富山県教育功労者表彰	・長守 崇 (県連盟コミッショナー・高岡9)	
◎ 富山県社会教育功労者表彰	・村田 俊彦 (副理事長・富山16) ・生地 貞男 (射水3・団委員長)	
◎ 日本連盟かつこう章	・上埜 茂人 (地区コミッショナー・高岡11)	
◎ ボランティア活動推進会長表彰	・義浦 実 (県連盟副コミッショナー・氷見5)	

■ 令和4年度 指導者養成事業 ■

◇ ボーイスカウト講習会 ◇

R4-1	令和4年6月5日 (日)	呉羽青少年自然の家	主任講師：上埜 茂人ALT
R4-2	令和5年3月19日 (日)	BS高岡地区事務所	主任講師：田中 景子ALT

◇ WB 研修所課程別研修 ◇

	令和4年11月27日 (日)	呉羽青少年自然の家	主任講師：長守 崇LT
--	----------------	-----------	-------------

■ 第64回ボーイスカウト富山県大会 ■

【テーマ】	私たちの未来へ 今できることを ～自分のfを探せ～	【開催日】	令和4年6月19日 (日)
【開催場所】	砺波市内 式典会場：砺波チューリップ公園 野外ステージ 祭典会場：砺波チューリップ公園		



今後の情報は県連ホームページにて随時紹介予定

編集後記・取材後記

コロナ禍で活動や行事が少なく、編集委員の団やブログに記載されている活動をご紹介します形で今回は4ページでの発行となりました。現在はSNSでの情報発信が主流ですが、道の友を手にした方がボーイスカウトに興味を持って、活動にご理解を頂ければ幸いです。編集を担当した総務委員の中でも特に松田委員のご尽力に感謝します。

(編集委員 塩井)